

澤崇哉, 西野 巧, 西村和真, 西村健汰, 西村俊希, 西村政輝, 西村達平, 野一色崇志, 萩原豊之, 橋本快生, 橋本大樹, 橋本智洋, 橋本直幸, 橋本裕介, 長谷川浩市, 畑 真太郎, 畠山一輝, 畑原勇氣, Hana Arisasa, 花田英司, 馬場柊也, 濱尾知也, 早川雅人, 林 秀晃, 林 穂高, 林 祐造, 原 和希, 原 昂弘, 原田恭兵, 原田瑞季, 韓 瑜, 半田沙里, 坂野友一, 東浦吉弘, 樋口陽光, 樋田有記, 樋山友理香, 平井和樹, 平田秀平, 平原瑛一, 平本大成, 廣井優姫, 廣瀬大輝, 廣野敦哉, 廣松亮祐, 傅 翔, 深澤彩美, 深津遼貴, 福島暁洋, 福留 環, 房安良和, 藤井尚史, 藤井雄基, 藤澤研斗, 藤澤ひかる, 藤原広紫, 二神圭司, Budi Rahmadya, 振津勇紀, 古川 湧, 古川裕也, 古田悠人, 星野純也, 細木唯以, 堀田順平, 堀 恵大, 堀内友博, 本多祥平, 本田祥己, 前川大和, 前田淳朗, 前田京佑, 前田勇太, 前林伸治, 栢田佳大, 松田大河, 松村美里, 松元翔矢, 松本拓海, 松本卓也, 松本 輝, 松本悠汰, 丸山祐吾, Zexin Wan, 三井悠也, 三浦竜也, 三崎浩杜, 水本明日也, 水山佳乃, 見館空椰, 三井湧方, 宮 南風, 宮内清孝, 宮内達也, 宮岡慧, 宮越一輝, 宮沢光輝, 宮路健太, 宮地美海矢, 宮関勇輔, 宮田万壽, 村井克彦, 村井穩永, 村上健祐, 村田博紀, 村田真隆, 村田海優, 村田悠馬, May Myat Myat Phyo, Moh Htun Aye, 茂澄倫也, 持水和人, 持倉有紀, 森 健太郎, 森 秀樹, 森 裕理, 森 勇登, 森下克幸, 森永育宏, 森本涼太, 門西修平, 谷口晃大, 安川 悟, 谷中 智, 柳久保友貴, 山内健太, 山岡聖宗, 山鹿由奈, 山上龍馬, 山口 江, 山口怜視, 山口 紳, 山口拓也, 山口晴己, 山崎駿平, 山崎飛龍, 山下大貴, 山下耀平, 山田健志, 山田万太郎, 山田裕太郎, 山根健太郎, 山村真由子, 山本滉己, 山本將平, 山本拓実, 山本拓実, 山本隼人, 山本悠人, 山本洋太, 山脇慎也, 油布憲治, 吉井一駿, 吉江明花, 吉岡小織, 吉岡琢朗,

吉川祐太, 吉田章統, 吉田伊吹, 吉田聡平, 吉田直矢, 吉田優介, 吉高太志, 吉野優作, 吉原拓海, 吉村侑恭, 吉村侑恭, 米内飛翔, 駱 瑤瑩, Luan Yue, Li Zixuan, 李 珠熙, Li Jintian, 劉 雨凝, 勞 瑛瑩, 和田健史郎, 渡瀬裕紀, 渡瀬悠斗, 渡部一聖, 渡辺拓哉, 渡部訓久, 綿貫博志, Wang Xin  
以上 559 名

## 2018 年 10 月新入会

(敬称略)

正員 Chaoyi Ma, Cheng Yuanqing, Dingcheng Jia, Fang Wang, Fang Yukun, Haode Yan, Huang Ren-Yuan, Hyun-Jun Hyung, Kim Mingyu, Li Jie, Ning Yu, Pengyu Lai, Sendren Sheng-Dong Xu, Shin Youngjoo, Siyang Sun, Sungkil Lee, Tian Liudou, Wu Han-Yan, Xin Wang, Xing Lining, Xuzhe Feng, Yongfu Li, Young-Kyu Kim, Yushun Guo, Zong Qing Lu  
以上 25 名

学生員 Changjin Kim, Jayshri Sharad Kulkarni, Xianzhao Xia

以上 3 名

## 死亡退会者

正員 阿部英三 正員 市川一弥 正員 永吉弘一  
正員 畑下豊仁 正員 林 義昭 正員 宮本正和

御逝去の訃音 (1月16日~2月15日) に接し、ここに謹んで哀悼の意を表します。

# 編集室

\* 実在する全ての「もの」がサイバー空間を介してつながる“IoT”は少しずつですが、私たちの身近なものとなってきています。気が付かないうちに「人」や「もの」とがつながりあって、人々に快適な環境を提供してくれる。家や職場に着いたら、必要なものがそれぞれ必要な位置にいてくれる。どこにいても快適な環境が出来上がり、癒やされる空間。こんな理想的な社会が目の前まで来ます。

\* 私が学生の頃、友人と旅行に出掛けるときには念入りに準備をしました。地図を持ち、友人との待合せ場所や時間を綿密に合わせたりと計画に時間を掛けていました。でも今は携帯電話があれば連絡もすぐにつくし、スマートフォンであれば場所も行先もすぐに分かりますので準備も随分楽になりました。全ての「もの」がつながるIoTの時代には、旅行のためのスケジュールや天気に合わせて行動予定も全ての時間に無駄のない完璧なスケジュールを自動的に作ってくれるようになるでしょう。そうすれば、数倍多くの経験をすることができるかもしれません。

\* 反面、IoTにより生活の全てが管理下になり、それが悪用されたときの恐怖を描いた映画も描かれるようになりました。いつの時代も利便性と危険性は隣り合わせにあるということです。このため、今月号の特集「IoTの全て」では、技術的観点、応用サービスの観点での解説とは独立してセキュリティの章を設けました。

\* 今月号の特集「IoTの全て」は少々大きなタイトルではありますが名前負けしない内容になるよう、編集にあたっては非常に多くの方々の御指導/御協力を頂きつつ企画を進めてきました。そして、最新のハード・ソフト両面からの通信技術や応用事例、セキュリティ技術、標準化動向と幅広くまとめてお届けできるまたとない機会となりました。今後の情報通信の発展を支える上でなくてはならない“IoT”のエッセンスについて、幅広く皆様に楽しんで頂きたいと思っています。是非この特集を御一読下さい。

(編集特別幹事 菊間一宏)